

セッション4

臨床における質的研究法の基礎

鈴木美子¹⁾、山本則子²⁾

1)安城更生病院、2)千葉大学看護学部

1. はじめに

最近、臨床でも質的研究に取り組んでみよう、という動きが高まっているように思います。しかし、いざ質的研究をやってみようと思いついても、さて質的研究で何が明らかにできるのか？ テーマの選定は？ プロセスは？ 従来の看護研究とどう違うのか？ など何か未知な、大きな感じがして、やってみたいと思いつつも躊躇してしまうことはありませんか？ そこで臨床でも質的研究に取り組んでいくために、質的研究法の基礎を参加者の皆様と一緒に学んでいきたいと思っています。

2. セッションの方法

初めて質的研究に取り組む臨床看護師が、質的研究の経験を持つ研究者とともに研究を進めてゆくプロセスを紹介し、そのプロセスで生じた疑問や課題について話し合っゆく予定です。実際の研究プロセスは学会までには終了できないと思いますが、学会の時点までの進捗状況を紹介し、それまでのプロセスやその後の展望のなかで話し合えることを見つけないと思っています。

現在までの進行状況は、「病棟看護師による効果的な家族支援を可能にする要因を明らかにする」という研究テーマで研究に取り組むことに決めた、というところまでできています。ここまでのやり取りの中でも、いくつかのポイントが出てきています。

- 1) 臨床実践の中で日ごろ気になっていること、研究テーマにしてみたいと思う話題の中から研究になじみそうなものを選択すること。
- 2) 研究の課題にするまでに、問題意識をより明確化すること。
- 3) 研究方法の概要をイメージすること。
- 4) 研究テーマが固まってきたところで、文献検索をし、研究計画書を書いてみることに。

当日は、それぞれのポイントを具体的に説明し、その後の展開をご紹介したいと思います。

3. セッションに期待すること

質的研究初心者が質的研究法の基礎を理解し、実践していけるよう参加者の皆様と一緒に、質的研究に関する疑問・悩みなど出し合い解決していきたいと思っています。